

ダルの

熊野の山中では、しばしばダルという妖怪（餓鬼）が現れ、空腹の旅人に取り憑くことがあります。ダルに取り憑かれた人は、一步も歩けなくなりその場に倒れてしまいます。そんな時は、何か口にされるか、食べるものがないときは手に「米」という字を書いてなめると助かるそうです。ダルの取り憑く所は、餓死者のあった場所であるともいわれています。

南方熊楠も大雲取越、小雲取越の難所でこの妖怪に取り憑かれて倒れたそうです。熊楠はその後、里人の教えに従って、必ず握り飯を持って山に入るようにしたと書き記しています。

地域の妖怪たち

左腕を切り落とされた河童

ゴウラ

昔、田野井橋下の川に二つの穴があり、そこに住んでいたゴウラ（河童）が、村人の馬を川に引き込みました。ゴウラは後日、村人に捕まり、左腕を切り落とされ、二度と悪戯をしないことを約束させられた上で、川に戻してもらいました。

その後、近くに住む木下家ではこのゴウラを憐れみ、家裏の槓の木のそばに祠堂を造り、代々片腕のない「ゴウラ様」を祀っています。木下家は不便な場所にあったため、今は川向いの集落に移り住みましたが、「ゴウラ様」の祠は今も同じ場所にあり、供養が続いています。

参考 河童伝承大書典 和田寛著 岩田書院



●木下家の河童像

田野井橋を渡りすぐ左側の古道を約500m歩くと、右側に住居の門であったであろう石積みの門が現れ、その裏手の傾斜地に祀られている。大きな横の木が目印。

〒白浜町田野井地内



●ゴウラが住んでいた日置川と田野井橋

〒白浜町田野井地内



「近露かつば餅」

日置川の上流、近露地区で、夫婦二人で25年続けている手作りのよもぎ餅。毎日新鮮なよもぎを摘んで作っている。

●かつば餅販売所

〒田辺市中辺路町近露1620 ☎0739-65-0046



●近露大橋の河童像

〒田辺市中辺路町近露地内



●熊野古道(大雲取越・小雲取越)

大雲取越・小雲取越は熊野古道屈指の険しいところだが、景色もすばらしい。

〒那智勝浦町～新宮市熊野川町～田辺市本宮町



寄り道ぐるめ

大膳の三川地区にも、とりつかれたところがあるんやて

「だるの腰弁」

ダルに取り憑かれたときのための小さなおにぎりに(だるの)腰めし(き)つき弁当(要予約)。残りめしは無事下山した後に食べる。

●道の駅ふるさとセンター大塔内 レストランい栗香

〒田辺市鮎川1000 ☎0739-49-0159

●熊野古道